人事院は、一般職の職員の給与に関する法律（昭和二十五年法律第九十五号）に基づき、人事院規則九―八（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部改正に関し次の人事院規則を制定する。

令和七年五月三十日

人事院総裁 川 本 裕 子

人事院規則九―八―九六

人事院規則九―八（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を改正する人事院規則
人事院規則九―八（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分（以下「傍線部分」という。）でこれに対応する改正前欄に掲げる規定の傍線部分がないものは、これを加え、改正前欄に掲げる規定の傍線部分でこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線部分があるものは、これを当該傍線部分のように改める。

改正後	改正前
<p>(定義)</p> <p>第二条 この規則において、次の各号に掲げる用</p>	<p>(定義)</p> <p>第二条 この規則において、次の各号に掲げる用</p>

語の意義は、当該各号に定めるところによる。

一〇十 (略)

十一 専門職 (大卒二群) 次に掲げる採用試験をいう。

イ (略)

ロ 刑務官採用試験 (大卒程度試験)

ハ〇チ (略)

十二 専門職 (高卒) 次に掲げる採用試験及びこれらに相当する採用試験をいう。

イ (略)

ロ 刑務官採用試験 (高卒程度試験)

ハ〇チ (略)

十三〇十七 (略)

語の意義は、当該各号に定めるところによる。

一〇十 (略)

十一 専門職 (大卒二群) 次に掲げる採用試験をいう。

イ (略)

(新設)

ロ〇ト (略)

十二 専門職 (高卒) 次に掲げる採用試験をいう。

イ (略)

ロ 刑務官採用試験

ハ〇チ (略)

十三〇十七 (略)

附 則

この規則は、令和七年十二月一日から施行する。